

令和2年4月13日

医学部学生各位

副学長 大槻 マミ太郎

### 本学の新型コロナウイルス感染対策に伴う心構え、諸対応について

新型コロナウイルスの非常事態宣言および栃木県での感染拡大を受け、本学の感染対策も日々目まぐるしく変化しています。そのような状況の中、4月8日の臨時教務委員会にて、安全なBSLおよび講義・実習の提供準備期間を確保するために、一定期間学生のカリキュラムを停止することとなりました。さらにこれを受け、BSL中止（高学年）およびe-learningへの切り替え（低学年）となるカリキュラム停止期間中、学生寮での過ごし方を懸念する声もあることから、全学年の学生に対し、一時的に各都道府県への帰省を促すこととしました。

帰省先の状況は各自異なると思いますので、最新の情報を入手し、適切な行動をとってください。大学は感対策本部を設置しており、感染制御の専門家からの助言に基づいて今後もカリキュラムを運用していきます。今後、ウェブ上に学生向けに情報閲覧サイト、Moodle「COVID-19にともなう通知（医学部）」を開設しますので、これを参考に日々の学習計画を進めてください。また、質問があれば適宜、下記相談窓口へお寄せください。

新型コロナウイルス感染に関する情報は急速に集積されていますが、未知のことが多く、突然の発症や重症化への不安に煽られたり、また長期戦となる自粛へのストレスが高じて思わぬ行動に出たりする危険性もあります。身体面のみならず、精神面での健康維持も心配です。

今後の感染状況について、大学からの情報発信を日々確認のうえ、社会からの情報発信についてもしっかり吟味しながら、本学の医学生として冷静な判断をとるようお願いします。自身が不顕性感染者である可能性も、また対面する他者が感染者である可能性も考慮し、自分や社会を守る行動を心がけてください。この期間も大学に残る学生に対しては、大学として最大限の対策および対応を実施します。

大学での講義実習が再開すれば、直ちにキャンパスでの集団生活が始まります。自身の不安や感情に打ち勝って健康を維持し、着実に学修を達成しておいてください。

相談窓口（学事課教務係）：授業・実習・BSLに関すること

相談窓口（学生生活支援センター）：生活全般に関する不安などの相談

連絡先：4月10日付の学生生活支援センター発「相談窓口について」を参照